

環境マネジメントシステム導入報告書作成に当たっての留意事項

1 すでに環境マネジメントシステムを導入されている事業者の場合

第1号様式の項目	記載内容等
環境マネジメントシステムの名称	<p>各社で定めている環境マネジメントシステム（社内マニュアルなど）の名称及びその規格（例：ISO14001, KES（ステップ2）など）を記載してください。</p> <p>また、会社独自で作成された環境マネジメントシステムを運用されている場合など特に規格の名称がない場合は、「独自のシステム」と記載してください。</p> <p>（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇株式会社環境マネジメントシステムマニュアル（KES（ステップ2））</li> <li>・株式会社●●EMS運用マニュアル（独自のシステム）</li> </ul>
適用範囲	<p>環境マネジメントシステムが適用される事業所名について記載してください。その際、事業活動の主たる事業所名を先頭に記載してください。</p> <p>また、適用範囲となる事業所が多くて所定欄に書ききれない場合は、事業活動の主たる事業所名を記載し、その後環境マネジメントシステムが適用されるその他の事業所数を記載してください。</p> <p>（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・●●株式会社●●工場, □□工場</li> <li>・〇〇株式会社〇〇工場ほか●●箇所</li> </ul>
導入年月日	<p>環境マネジメントシステムを導入した年月日を記載してください。登録証に記載されている登録日を転記いただいても結構です。</p>
認証番号	<p>第三者認証を受けている場合のみ、認証番号を記載してください。登録証に記載されている登録番号を転記いただいても結構です。</p>
基本方針	<p>組織が自主的、積極的に環境経営に取り組む、環境負荷の継続的な削減に取り組んでいくことについての基本的な方針（環境方針）を簡潔に記載してください。</p>
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<p>環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくために、何を、どの程度、いつまでに行うかを定めた具体的な目標（環境目標）を簡潔に記載してください。</p> <p>（例）</p> <p>省エネルギー（CO2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・・・〇〇年度比〇〇%削減</li> </ul> <p>廃棄物排出量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・・・〇〇年度比〇〇%削減</li> </ul>

<p>目標を達成するための取組の内容</p>	<p>目標を達成するための具体的な手段等について簡潔に記載してください。</p> <p>(例)</p> <p>省エネルギー (CO2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・・・室内温度の適正化, コンプレッサーの省エネタイプへの更新, ブロワーファンの制御変更, 外気の循環による冷暖房の効率化</li> </ul> <p>廃棄物排出量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・・・不良品等の削減</li> </ul>
<p>目標を達成するための取組の進捗状況</p>	<p>目標を達成するための具体的な手段等が当初の想定どおりに取り組まれているか, 簡潔に記載してください。</p> <p>(例)</p> <p>省エネルギー (CO2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・・・室内温度の適正化, コンプレッサーの省エネタイプへの更新, 外気の循環による冷暖房の効率化を実施済み</li> </ul> <p>廃棄物排出量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・・・不良品等の削減を実施中</li> </ul>
<p>目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価</p>	<p>「環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標」欄に記載された目標の達成状況及び評価について簡潔に記載してください。</p> <p>(例)</p> <p>当初計画どおりに取り組むことができている。</p>
<p>事業活動に係る法令の遵守の状況</p>	<p>直近年度における関連法規に係る遵法性 (法規で定められた届出や測定の実施状況及び規準値の遵守状況等) について簡潔に記載してください。</p> <p>(例)</p> <p>関連法規の遵守状況について1ヶ月に1回確認を行っている。これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。</p>
<p>環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容</p>	<p>報告年度以降の目標 (環境目標) をどのように策定し, どのような取組を行うべきか等について検討し, 評価及び見直しを行った結果について簡潔に記載してください。</p> <p>(例)</p> <p>評価・見直しの必要性については, 原則として1年に1回検討している。</p> <p>令和元年度は, 現行の目標及び取組内容により一定の成果が見られたことから, 2年度も同一のシステムにより運用した。</p>

## 2 現在環境マネジメントシステムを導入していない事業者の場合

第1号様式の項目	記載内容等
環境マネジメントシステムの名称	「未導入」と記載してください。
基本方針	導入計画を具体的に記載してください。  (例) 令和3年度中に検討チームを立ち上げ、導入しようとするEMSの種類やその内容について検討し、令和4年度中の導入する。

## 3 その他留意事項

- (1) 環境マネジメントシステムの導入については、条例において義務化しておりますので、当該計画期間中（令和2年度から令和4年度まで）に必ずいずれかのEMSの取得又は独自システムの構築が必須となります。（なお、上記期間中にいずれかのEMSの取得又は独自システムの構築が実施されなかった事業者については、当該報告書を不受理とし、勧告及び公表措置の対象となります）

また、提出された環境マネジメントシステム導入報告書（毎年度の実績）については京都市ホームページに公表いたします。

- (2) すでに環境マネジメントシステムを導入されている場合、環境マネジメントシステム導入報告書の内容が確認できるもの（登録証の写し、社内マニュアル（該当部分）の写し、環境レポート（該当部分）の写し等）を提出くださいますようお願いいたします。  
なお、登録証の写し等につきましては公表の対象としないほか、内容の確認が終了次第返却させていただきます。